

## △ニコチネルTTS [外]

【重要度】 【一般製剤名】ニコチン Nicotine 【分類】禁煙補助剤  
【単位】△10 (17.5mg/枚), △20 (35mg/枚), △30 (52.5mg/枚)  
【常用量】1日1枚, 24時間貼付  
【用法】最初の4週間はTTS30から貼付し、次の2週間はTTS20を貼付し、最後の2週間はTTS10を貼付する。10週間を越えて継続投与しない  
【透析患者への投与方法】減量の必要はないと思われる (5)  
【保存期 CKD 患者への投与方法】PKは腎機能低下の影響を受けず、減量の必要なし (5)  
【特徴】禁煙の補助を目的としたニコチン経皮吸収剤で1日1枚の貼付で長時間安定した血漿中ニコチン濃度が維持でき、禁煙スタート時の離脱症状を抑える。  
【主な副作用・毒性】一次刺激性の接触皮膚炎 (紅斑, 掻痒, 丘疹, 腫脹, 小水疱等), 不眠, 頭痛, めまい, 倦怠感, 嘔気, AST・LDH 上昇  
【吸収】体温の高値で吸収が亢進するかもしれない (Panda A, et al: AAPS PharmSciTech 2019 PMID: 30635802)  
【F】82% (1) 経口投与 30%, 喫煙 90%, 吸入 53%, 貼付薬 80~90% (13)  
【tmax】7~24hr (1) 喫煙 4~5hr, 貼付 12hr, 吸入 15min, スプレー 4.2~15min (13) 【Cmax】1日25本の喫煙で18ng/mL, 30cm 貼付剤で12.3ng/mL, 1mg 含有スプレーで2~12ng/mL, 4mg を20分かけて80回吸入後のCmaxは22.5ng/mL (13)  
【代謝】70%が肝で代謝され、主にCYP2A6が関与 (1) 主要な代謝反応はコチニンへの酸化 (1) 代謝物のノルニコチン, コチニンの活性はほとんどない (1)  
【排泄】尿中未変化体排泄率17±9% (13) 10% (11) 尿中ニコチン排泄率8~10% [貼付, 48hr まで] (1) 【CL】0.86L/hr/Kg (1) 18.5±5.4mL/min/kg (13) ニコチンのクリアランスはCYP2A6 遺伝子型により変化し, EM 18.8±6.0, ヘテロ 15.5±4.9, PM 11.7±5.1mL/min/kg (Benowitz NL, et al: Clin Pharmacol Ther 80: 457-67, 2006)  
【t1/2】除去後のt1/2は6~7hr (1) 2hr (11,13)  
【蛋白結合率】4.9% (1,13) 5% (11)  
【Vd】2.6±0.9L/kg (11,13) 2.5L/kg (1)  
【MW】162.2  
【透析性】分布容積が大きいため透析では除去されにくいと思われる (5) 資料なし (1)  
【TDMのポイント】TDMの対象にならない【O/W係数】15 [1-オクタノール水系, pH7] (1)  
【相互作用】喫煙中にフェナセチン, カフェイン, テオフィリン, イミプラミン, ペンタゾシン, フロセミド, プロプラノロールを服用している場合, これら薬剤の作用が増強するおそれ (1) アドレナリン遮断性の薬剤の作用を減弱させるおそれ (1) アドレナリン作動性の薬剤の作用を増強させるおそれ (1)  
【更新日】20211007

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。